

調査結果Aの記載内容について

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
 (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、
 中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業
 (3) 平成30年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業
 ※それ以外の事業は「令和2年度 事業調査結果B 観光分野」に掲載されています。

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
 - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「事業概要」
 - ・事業概要
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
 - ・令和元年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業で得られた成果
- 「課題」
 - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
 - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
 - ・事業を担当する課

観光		(所管課)
【分野別目標1】観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出		
1	観光写真コンクール	アカデミー推進課
2	肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	みどり公園課/アカデミー推進課
3	展望ラウンジ観光拠点化事業	アカデミー推進課
4	まち並みウォッチング	住環境課
5	文の京都市景観賞	住環境課
6	歴史的建造物の活用	アカデミー推進課
7	文の京ゆかりの文人支援事業	アカデミー推進課
8	文の京ゆかりの文人銘菓	アカデミー推進課
9	観光リーフレット作成	アカデミー推進課
10	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	区民課
11	自転車シェアリング事業	管理課
12	無料公衆無線LANの整備	情報政策課
13	観光インフォメーション	アカデミー推進課
14	観光PRポスター作成	アカデミー推進課
15	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	アカデミー推進課
16	インバウンド歓迎戦略2019～外国人まるごとおもてなしプラン～	アカデミー推進課
【分野別目標2】情報の収集・活用による来訪の促進		
17	観光ボランティアガイド事業	アカデミー推進課
18(再掲)	歴史的建造物の活用	アカデミー推進課
19(再掲)	文の京ゆかりの文人支援事業	アカデミー推進課
20(再掲)	文の京ゆかりの文人銘菓	アカデミー推進課
21	フィルムコミッション事業	アカデミー推進課
22	花の五大まつり等助成	アカデミー推進課
23	国内交流事業	アカデミー推進課
24	食材購入費補助事業	アカデミー推進課
【分野別目標3】持続可能なまちづくりを支える仕組みづくり		
25	観光協会振興助成	アカデミー推進課
26	バリアフリーの推進	都市計画課
27	区内統一案内標識整備	道路課
28	外国人おもてなし隊育成事業	アカデミー推進課

令和2年度 事業調査結果A 観光分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標1】 観光資源の発掘・保護を通じた文京区の魅力・個性の創出

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 文京区の魅力や個性につながる新たな資源の発掘														
1	54		観光写真コンクール	区内の名所・旧跡等の歴史文化遺産や文京花の五大まつりの風物詩等、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施する。	予算	-	当初予定数(定員等)	-	区内の名所・旧跡、風物詩等を広く紹介し、地域振興に努めるとともに、文京区の魅力を区内外に発信し、誘客を図ることを目的に、観光写真コンクールを実施した。 第58回 文京区観光写真コンクール(募集期間)8月1日～9月21日(表彰式)11月8日(写真展)11月8日～11月10日	文京区の魅力を多方面にPRすることができた。	PRに向け効果的な実施方法を検討するとともに、区民以外の認知度を高める必要がある。	SNSを活用した写真コンクール等の実施を検討するとともに、周知方法の工夫を図り、区外からの応募を促進する。	アカデミー推進課	
					決算	-	実績数	514点						
							申込数	514点						
2	54		肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	観光拠点施設として、近隣の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致を図り、地域の活性化に寄与するため、歴史性のある肥後細川庭園及び松聲閣の魅力や情報を発信するとともに、地域周遊事業を企画する。	予算	298	当初予定数(定員等)	-	指定管理者自主事業「目白台”涼”さんぽ ～Cool Mejirodai～」(実施期間)令和元年8月3日(土)から9月1日(日)まで(場所)肥後細川庭園 松聲閣(内容)周遊マップ8,000部を作成、協力3施設のスタンプラリー実施、協力3施設の喫茶代金等割引サービス実施、熱中症予防啓発のノベルティ配布(協力)永青文庫、ホテル椿山荘東京、日本女子大学、日本気象協会	豊かな緑と水を湛える目白台の夏季の魅力をPRすべく、周辺施設と連携し、周遊機会を創出することができた。また、日本気象協会「熱中症ゼロプロジェクト」と連携を図り、熱中症予防の普及啓発活動に努めた。	イベントの認知度を向上させるため、周知方法等の検討が必要である。	周遊マップの配布先拡大やSNSによる周知等。	みどり公園課/アカデミー推進課	
					決算	298	実績数	-						
							申込数	-						
3			展望ラウンジ観光拠点化事業	シビックセンター25階の展望ラウンジにおいて、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的とした事業「Sky View Lounge BAR」を実施する。	予算	3,396	当初予定数(定員等)	10回	酒類を含む飲食品の提供のほか、観光土産物等を販売するイベントを定期的に実施した。また、経済課主催による「文京博覧会(ぶんぱく)2019」やスポーツ振興課主催の「文京クリスマスマーケット」と同日開催となったことから、国内交流都市のワインや日本酒等を販売した。 (1)実施時期:5月24・25日、6月28・29日、7月19・20日、8月23・24日、9月27日・28日、10月25日・26日、11月15日・16日・22日、12月13日・14日	展望ラウンジの魅力を多方面にPRすることができた。	イベントの認知度が低いため、周知方法を検討する必要がある。	事業チラシの新聞折込や周辺企業へのチラシ配架等、広報活動の一層の強化を図る。出店業者の募集に際し、関係機関に協力を仰ぎ、事業の認知度を向上させる。	アカデミー推進課	
					決算	2,883	実績数	8回						80.0%
							申込数	-						-
4	54	住02-01	まち並みウォッチング	都市景観に対する区民の意識向上を図るため、まち歩きにより、身近なまちの景色の中にある史跡、緑、坂など、文京区らしい景観を見つける。	予算	34	当初予定数(定員等)	30人	【平成11年度～】毎年実施 H31.4.25に実施 参加者25名	講師の景観的視点に立った説明を受けながらまち歩きをすることで、まち並みの見え方や緑の重要性を認識し、都市景観に対する区民の意識が高まっている。	より幅広い年齢層に関心を持ってもらい、都市景観への意識を更に高める必要がある。	より興味を引く事業内容や参加し易い時期を検討するとともに、視認性の高いポスター等を作成し、周知を図る。	住環境課	
					決算	31	実績数	25人						83.3%
							申込数	37人						123.3%
5	54	住02-01	文の京都市景観賞	都市景観に対する区民及び事業者の意識向上を図るため、優れた景観づくりに貢献している建物や広告物、まち並みなどを一般の方々から広く募集し、表彰する。	予算	1,018	当初予定数(定員等)	-	【平成13年度～】令和元年度で19回実施。①景観創造賞 ②ふるさと景観賞 ③景観づくり活動賞 ④景観広告賞の4部門を設けて候補物件を募集。景観づくり審議会にて選考し、表彰を行う。令和元年度受賞物件は、①景観創造賞:東京カテドラル聖マリア大聖堂 ②ふるさと景観賞:しろへび坂 ③景観づくり活動賞:該当無し ④景観広告賞:本郷 三原堂 応募件数は52件。	区内の景観を形成している建築物等やまち並み、優れた景観づくりに貢献した地域活動等を表彰することにより、区民及び事業者の景観形成に対する意識の向上が図られている。	応募件数が減少傾向にある。	未来を担う子どもを対象とした賞や、事業主・設計者を称える賞など新たな賞を創設し、景観に対する意識向上を促すことで、景観賞の活性化を試みる。	住環境課	
					決算	946	実績数	52件						-
							申込数	52件						-

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(2)】「文の京」ならではの魅力の向上と新たなストーリーの展開															
6	50		歴史的建造物の活用	樋口一葉ゆかりの文学史跡である旧伊勢屋質店において、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物公開(内部含)、概要展示、観光案内等の活用事業を行う。	予算	2,650	当初予定数(定員等)	—	—	(1)建物内部の公開 公開日数:55日 来場者:1,933人 (2)観光資料の配布・問合せ対応 (3)解説パネル、施設案内表示等の製作・展示 (4)建物公開に関する印刷物の製作・配布	本区の貴重な文化資産である「旧伊勢屋質店」の建物公開を通じて、建物に関する知識の普及啓発を行うとともに、本郷エリアの情報発信に取り組んだ。	より多くの来館があるよう、建物を所有する跡見学園と連携し、広報等の方法を工夫する必要がある。	現状行っている双方のホームページでの広報をより積極的に行うとともに、関連施設での広報等新たな方法も検討する。	アカデミー推進課	
					決算	2,650	実績数	1,933人							
							申込数	—							
7	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助する。	予算	400	当初予定数(定員等)	120	—	第40回 文京一葉忌:120人	一葉忌の実施にあたり、ポスター・パンフレットの配架を通し周知活動を行った。	より多くの方に本イベントを知っていただき、来場してもらうため、広報を工夫する必要がある。	チラシやポスター等の配架先を検討する。	アカデミー推進課	
					決算	400	実績数	120							100.0%
							申込数	—							
8	55		文の京ゆかりの文人銘菓	文京区の代表的な文人たちになんだお菓子を創作し、文京区の土産品として販売することで、地域ブランドを向上させ、PRを行う。	予算	159	当初予定数(定員等)	5,000部	—	冊子印刷部数:5,000部 実施内容:区年賀会での販売及び、スカイビューラウンジバーでの販売機会の提供	文人銘菓カタログの増刷を行うとともに、年賀会等への出店補助を行った。	文人銘菓カタログをより多くの関係施設に配架するなどより積極的なPRを行う必要がある。	カタログの配架先を検討する。	アカデミー推進課	
					決算	132	実績数	5,000部							100.0%
							申込数	—							
【基本的な方向性(3)】区内の回遊性を向上させる誘導の環境づくり															
9	56	観01-02	観光リーフレット作成	区内観光施設や名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレット等を作成する。	予算	14,125	当初予定数(定員等)	—	—	<作成部数> ・観光ガイドマップ 日本語版58,000部、英語版6,000部、中国語版(簡体字)2,000部、中国語版(繁体字)2,000部、ハングル版1,000部を作成 ・文京グルメマップ リーフレットの全面改訂を行った。 日本語版80,000部(外国語版はWebのみ)作成	シビックセンター1階観光インフォメーション及び25階展望ラウンジ並びに東京シティアイ等での配架のほか、区内観光関連施設や宿泊施設等での配布を行うとともに、まつり等のイベントで来場者に配布することにより、区内外へ本区の情報を広く発信することができた。	区の魅力をよりわかりやすく伝えるために、掲載コンテンツの充実を図る必要がある。	Webとの連動や、人気の高いアニメ関連のコンテンツを掲載するなど、既存のガイドマップを生かしつつ、新たな要素を取り入れていく。	アカデミー推進課	
					決算	14,019	実績数	149,000部							
							申込数	—							
10	56	住06-01	コミュニティバス「B-ぐる」運行事業	公共交通不便地域の解消等を図るため、コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出す。	予算	62,737	当初予定数(定員等)	—	—	令和元年度利用客数 千駄木・駒込ルート:487,564人(前年度比:0.7%) 目白台・小日向ルート:439,811人(前年度比:-2.1%)	区内の公共交通不便地域の解消のため、千駄木・駒込ルート及び目白台・小日向ルートの2系統を運行した。また、公共交通不便地域の更なる解消のため、新規路線導入に向けた準備を進めるとともに、B-ぐるに対応する経路検索サービスの充実等により、利便性の向上に努めた。	新規路線導入にあたり、各関係機関と協議・調整を進める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の影響による交通需要の変化に注視しながら、老朽化したバス車両の更新やイベントの実施により、既存路線の利用者数の維持・拡大に努めていく。	区民課		
					決算	61,468	実績数	927,375人							
							申込数	—							
11		観04-02	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業実証実験(一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム)	予算	15,935	当初予定数(定員等)	522,680回	—	地域・観光の活性化、環境負荷軽減などの効果が見込まれる自転車シェアリング事業の実証実験を事業者等と連携して平成29年1月より実施しています。	令和2年3月31日時点での文京区における会員登録数は23,546人、整備した自転車台数800台、サイクルポート数70箇所、令和元年度の年間利用回数は637,610回となり、移動の利便性が向上しています。	サイクルポートの増設が難しい状況です。また、自転車のバッテリー切れ、ポートでの自転車の不足及び溢れが問題となっています。	令和2年4月1日より、実証実験から本格実施に移行しました。自転車の溢れ、バッテリー切れについて、連携各区や運営事業者と協力し改善策を検討していきます。サイクルポートの拡充について、公有地だけでなく民有地の施設管理者とも運営事業者と協力し協議を行っていきます。	管理課	
					決算	1,782	実績数	637,610回							122.0%
							申込数	—							
12		観01-01	無料公衆無線LANの整備	国内外からの観光客や施設利用者へ文京区の観光情報を発信するとともに、災害時の情報提供や区民サービス向上につながる通信手段として、文京区内に無料公衆無線LANを整備する。	予算	26,831	当初予定数(定員等)	1箇所	—	教育の森公園に無料公衆無線LANの整備を行った。	平成31年度においては、文京区内に整備した公衆無線LANの接続者数が35万件を超え、多くの観光客や施設利用者へのサービス向上につながった。	公衆無線LAN導入当初に比べ、様々な機種が製品化されていることから、今後の機器更改の際には、運用コスト等を勘案していく必要がある。	著しく接続者数が少ない拠点などは運用コストの低い製品に変更や撤去も含めて検討を行う。	情報政策課	
					決算	19,219	実績数	1箇所							100.0%
							申込数	—							

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(4)】 文京区の魅力や個性を伝える仕組みづくり														
13	47	観01-03	観光インフォメーション	観光に関する情報の収集及び提供等を行うことにより、区の観光振興を図り、地域の活性化に寄与するため、シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報提供や案内を行う。	予算	12,482	当初予定数 (定員等)	—	—	文京区観光協会に管理・運営を委託し、午前9時30分から午後6時まで、ほぼ年中無休で開所し、来訪者対応を実施した。 ・来所者数 16,750人 ・相談件数 3,067件	区内観光施設等に関する利用者からの問い合わせに対して、迅速に情報提供を行うことができた。	来所相談や電話相談件数が減った分、ホームページやSNSにより情報を得る利用者が増加していることが考えられるため、こうしたツールを利用した情報発信を強化していく必要がある。	観光協会のホームページやSNSアカウントを活用し、より積極的に観光情報の発信を行う。	アカデミー推進課
					決算	12,482	実績数	3,067 件						
							申込数	—						
14	47		観光PRポスター作成	観光PRポスターを作成し区内外の地下鉄駅や東京シティアイ等に掲出することで、観光客誘致及び区のイメージアップを図る。	予算	1,051	当初予定数 (定員等)	—	—	都営地下鉄及び東京メトロの駅構内掲出期間 3月13日～3月19日、3月16日～3月22日、3月20日～3月26日、3月23日～3月29日 (新型コロナウイルス感染症拡大の為、観光PRポスターの新規作成は見合わせ、昨年度のポスターを掲出)	都営地下鉄及び東京メトロの駅構内や東京シティアイなどにも提出する事により多くの人たちに周知できた。	文京区の観光スポットなどを認知してもらう為、多くの人の目に留まるようデザインなどを工夫する必要がある。	よりインパクトのあるポスターを作成をするために、デザイナーなどの活用も検討する。	アカデミー推進課
					決算	524	実績数	—						
							申込数	—						
15		観01-05	文京区デジタルジャーニー～展望ラウンジからつながる観光情報発信～	多言語観光アプリ「旅道(たびどう)」内において、文京区の観光施設等を紹介するページを作成し、AR(拡張現実)等の最新技術を用いて、国内外に本区の魅力を発信していく。	予算	868	当初予定数 (定員等)	—	—	360度VR静止画・動画及び紹介記事を14か所追加したほか、アプリの機能を活用したスタンプラリーを実施した。(アプリダウンロード数98,762件、年間コンテンツ再生回数12,987件)	AR(拡張現実)技術を用いて、国内外に本区の魅力を発信してすることができた。スタンプラリーをアプリで行うことで、当コンテンツを周知した。	閲覧数の増加に向けて、スタンプラリーを行うなど、アプリを利用した取り組みを検討する必要がある。	アプリを使用した事業等の検討を行う。	アカデミー推進課
					決算	862	実績数	12,987 件						
							申込数	—						
16			インバウンド歓迎戦略2019～外国人まるごとおもてなしプラン～	文の京まちなか観光案内人：観光ガイド及び区内大学生等が、休日・まつり開催時などを中心に、翻訳タブレットを携帯し、多言語による案内を行う。 日本文化体験三昧：外国人に人気の高い、着付けや茶道・書道、折り紙等の日本文化が体験できるイベントを行う。	予算	2,747	当初予定数 (定員等)	—	—	根津・千駄木エリアを拠点に、街中での積極的な観光案内や日本文化が体験できるイベント等を実施した。 文の京まちなか観光案内人実績 実施回数：49回 ボランティア参加者数：延べ210人 案内件数：1,313件 日本文化体験三昧実績 実施回数：5回(あめ細工、折り紙、江戸木版画) 参加者数：254人	外国人旅行者に本区の魅力を伝えるとともに、おもてなしの心や日本文化に触れる機会を提供することができた。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年2月より活動を中止している。	活動再開後の活動内容や安定的なボランティアの確保が必要である。	感染症対策を講じた新たな取組を検討する必要がある。効果的な周知方法を考えるとともに外国人住民等の活用も検討する。	アカデミー推進課
					決算	1,832	実績数	210 人						
							申込数	—						

令和2年度 事業調査結果A 観光分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標2】情報の収集・活用による来訪の促進

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】国内外における文京区の観光ニーズの把握															
17	54	観03-01	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行う。	予算	1,758	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)観光ガイド育成 ※隔年実施 登録人数:35人 (2)区内10コースの予約ガイド、「文の京ガイドツアー」、まつりでのガイド等 実施回数:115回 参加人数:1,226人 (3)観光ガイドレベルアップ研修	新たに10人の観光ボランティアガイドの養成を行うなど、区の観光資源等の魅力をより広く伝えるための体制強化ができた。	令和元年度末より新型コロナウイルス感染症の影響でまちあるきを中止しているため、再開に向けた準備を進めるとともに、観光ガイドを活用した新たな取組の検討が必要である。	再開に向けた万全の衛生対策を整えるとともに、観光ガイドが持つ豊富な知識を生かした新たな事業を展開する。	アカデミー推進課
					決算	1,294	実績数	1,296人	—						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(2)】文京区の地域ブランド力向上															
18 (再掲)	50		歴史的建造物の活用	樋口一葉ゆかりの文学史跡である旧伊勢屋質店において、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物公開(内部含)、概要展示、観光案内等の活用事業を行う。	予算	2,650	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)建物内部の公開 公開日数:55日 来場者:1,933人 (2)観光資料の配布・問合せ対応 (3)解説パネル、施設案内表示等の製作・展示 (4)建物公開に関する印刷物の製作・配布	本区の貴重な文化資産である「旧伊勢屋質店」の建物公開を通じて、建物に関する知識の普及啓発を行うとともに、本郷エリアの情報発信に取り組んだ。	より多くの来館があるよう、建物に所有する跡見学園と連携し、広報等の方法を工夫する必要がある。	現状行っている双方のホームページでの広報をより積極的に行うとともに、関連施設での広報等新たな方法も検討する。	アカデミー推進課
					決算	2,650	実績数	1,933人	—						
							申込数	—	—						
19 (再掲)	55		文の京ゆかりの文人支援事業	文京ゆかりの文人を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助する。	予算	400	当初予定数(定員等)	120	—	—	第40回 文京一葉忌:120人	一葉忌の実施にあたり、ポスター・パンフレットの配架を通し周知活動を行った。	より多くの方に本イベントを知っていただき、来場してもらうため、広報を工夫する必要がある。	チラシやポスター等の配架先を検討する。	アカデミー推進課
					決算	400	実績数	120	100.0%						
							申込数	—	—						
20 (再掲)	55		文の京ゆかりの文人銘菓	文京区の代表的な文人たちになんだお菓子を創作し、文京区の土産品として販売することで、地域ブランドを向上させ、PRを行う。	予算	159	当初予定数(定員等)	5,000部	—	—	冊子印刷部数:5,000部 実施内容:区年賀会での販売及び、スカイビューラウンジバーでの販売機会の提供	文人銘菓カタログの増刷を行うとともに、年賀会等への出店補助を行った。	文人銘菓カタログをより多くの関係施設に配架するなどより積極的なPRを行う必要がある。	カタログの配架先を検討する。	アカデミー推進課
					決算	132	実績数	5,000部	100.0%						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(3)】効果的な双方向の観光情報発信															
21	60		フィルムコミッション事業	映像制作事業者を積極的に誘致するとともに、円滑なロケーション撮影を行うための各種申請、調整等のサポートを行う。	予算	23	当初予定数(定員等)	9件	—	—	撮影協力実績:14件	区有施設がメディアで取り上げられることにより、区の魅力を多方面に発信することができた。	より多くのメディアに対し、広く区内のロケーションを発信するとともに、スムーズなサポートを行い、申請時の負担軽減を図る必要がある。	区内民間施設情報の収集を行うとともに、庁内関係各所との迅速な情報共有を行い、撮影に向けた調整等をサポートする。	アカデミー推進課
					決算	9	実績数	14件	155.6%						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(4)】 活気ある交流の仕組みづくり															
22	61	観04-01	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行う。	予算	10,370	当初予定数(定員等)	—	—	さくらまつり:0人 つつじまつり:70万人 あじさいまつり:10万人 菊まつり:30万人 梅まつり:25万人 朝顔・ほおずき市:4.2万人 下町まつり:0人	多くの来場者に本区の観光資源の魅力を発信するとともに周辺地域の活性化に寄与した。さくらまつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。下町まつりは台風19号により中止となった。	イベント内容の充実等により、まつりの魅力を一層高める必要がある。	実行委員会と緊密に連携し、必要に応じて助言等を行う。	アカデミー推進課	
					決算	7,884	実績数	139 万人							—
							申込数	—							—
23	58	国内交流事業	区と友好関係にある自治体との交流事業の拡充を図るほか、全国の自治体との事業協力を行う。	予算	1,395	当初予定数(定員等)	10 件	—	—	①各種交流事業の促進を図るため、金沢市及び玉名市と相互協力に関する協定を締結した。 締結日:令和元年8月4日(金沢市) 締結日:令和元年11月7日(玉名市) ②区と全国の各地域において住民同士の交流や連携を促進するため、区内で活動する非営利団体が、住民間の相互交流事業を実施した際に要した費用の一部を補助する「文京区国内交流・連携事業補助金事業」を実施した。 補助件数:10件、補助金額:971,640円	スポーツや文化関連の事業を通じた各地域との住民同士の交流を行った団体に補助することで、国内交流の促進につながった。	協定等締結自治体との積極的な交流を継続していくとともに、住民間における交流を更に促進していく必要がある。	文化・観光・産業・スポーツ等、多岐にわたり、国内交流促進のための効果的な施策を実施していく。	アカデミー推進課	
				決算	1,203	実績数	10 件	100.0%							
						申込数	10 件	100.0%							
24		食材購入費補助事業	区内で営業する飲食店が、本区と交流のある自治体で生産された食材を活用して料理を提供した際に要した費用の一部を補助する。	予算	500	当初予定数(定員等)	10 件	—	—	協定等締結各自治体と食を通じた交流の活性化を図り、住民間の交流の促進につなげるため、本区と交流のある自治体で生産された食材を活用して料理を提供した区内飲食店に対し、食材購入費の一部を補助した。 補助件数:10件、補助金額:365,000円	協定等締結自治体産の食を通じて、多くの区民に協定等締結自治体の魅力を周知することができた。	本補助事業及び交付決定店舗を幅広く周知し、より多くの区民に、区の協定等締結自治体を認知してもらう必要がある。	補助件数を増やすとともに、交付決定店舗を巡るスタンブラーを実施し、協定等締結自治体を知っていただく機会を増やす。	アカデミー推進課	
				決算	365	実績数	10 件	100.0%							
						申込数	14 件	140.0%							

令和2年度 事業調査結果A 観光分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標3】 持続可能な観光まちづくりを支える仕組みづくり

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
【基本的な方向性(1)】 観光を通じた区内外のネットワーク環境の構築														
25	62		観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図る。	予算	11,776	当初予定数(定員等)	—	—	まつり等観光PR、観光写真コンクール等の事業運営費及び事務局職員人件費等の補助を行った。	観光協会が実施する事業に対して費用の補助を行うことで、本区の観光振興発展に係る事業の充実につなげることができた。	観光協会がより主体的に事業に取り組み、観光振興の更なる充実が図られるよう、補助対象や補助金額を精査する必要がある。	新たなニーズやターゲット層の掘り起こしに向け、観光協会との連携を密に行い、SNS等を活用した情報発信を充実する。	アカデミー推進課
					決算	11,206	実績数	—	—					
							申込数	—	—					
【基本的な方向性(2)】 安心・安全で優しいまちを実現する環境づくりの推進														
26	63	住03-01	バリアフリーの推進	文京区バリアフリー基本構想重点整備地区別計画に掲載した特定事業の進捗管理を行い、特定事業の実施にあたって事業経費の補助を行う。	予算	5,793	当初予定数(定員等)	3件	—	地区別計画に定める特定事業について、毎年度の進捗状況を管理し、各施設設置管理者より申請があった場合、事業経費を補助する。※令和2年度まで。	特定事業を掲載した全ての施設設置管理者より進捗報告を受けている。補助制度については、平成30年度以降、計3件の申請があり、交付を行った。	令和2年度からの中間評価に向け、施設設置管理者と密に連携し、更なる推進が図られるよう、課題の整理を行う必要がある。また、補助事業の周知を図る必要がある。	中間評価に向け、各施設設置管理者へ進捗状況に加えて未実施事業の見込みや、事業の修正について照会する。併せて補助制度について補助対象者へ周知を行い、利用意向のアンケートを実施する。	都市計画課
					決算	3,514	実績数	0件	0.0%					
							申込数	—	—					
27	56		区内統一案内標識整備	ガイドライン「文京区案内標識等統一化計画」に基づき、標識内に設置場所付近の観光関連施設等の情報を掲載する。 ※設置は道路課主管で行う。	予算	39,587	当初予定数(定員等)	15基	—	統一案内標識設置工 14基 既存案内標識撤去工 24基	ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすい的確な観光情報等を提供する標識を設置することにより、外国人や障害者、高齢者等を含む多くの方々に、安心・安全な観光まちあるきを楽しんでもらうことができ、本区の観光客に対するおもてなしの心を感じてもらうことができた。 なお、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会前までの整備計画を達成したため、事業を終了する。	事業を終了するため、課題はなし。	事業を終了するため、課題解決に向けた取組はなし。	道路課
					決算	37,016	実績数	14基	93.3%					
							申込数	—	—					

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満 足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
【基本的な方向性(3)】 観光まちづくりにおけるホスピタリティの醸成												
28		観03-02	外国人おもてなし隊育成事業	平易な英語で外国人に対するおもてなしを学ぶ「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」や、区内留学生とやさしい日本語で交流する「日本語でおもてなしレベルアップ交流会」を実施する。	予算	122	当初予定数 (定員等)	270人	—	90.0%		
					決算	43	実績数	185人	68.5%			
							申込数	248人	91.9%			
					<p>(1) 「外国人おもてなし語学ボランティア講座」の実施（東京都共催） ア)内容:おもてなしや異文化コミュニケーションについて、映像やグループワークを通して学習する イ)対象:文京区内在住・在勤・在学の方(15歳以上、中学生を除く)で、英語による簡単な日常会話ができる方 ウ)講師:東京都から派遣される講師 エ)定員:各回60人(応募者多数の場合抽選) オ)場所:スカイホール カ)参加費:無料 令和元年度実施回数 4回 参加者合計 166人 令和元年6月8日 参加者40人 令和元年7月6日 参加者34人 令和元年9月8日 参加者47人 令和元年12月7日 参加者45人 令和2年3月14日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>(2) 日本語でおもてなしレベルアップ交流会 ア)内容:地域の外国人と日本人との交流及び相互理解の推進のため、簡単な日本語表現を使って外国人と交流する。 イ)対象:文京区内在住・在勤・在学の方(未就学児は不可) ウ)講師:ABK学館 日本語学校 教務主任 亀山稔史氏 エ)参加費:無料 オ)開催日:令和2年2月1日(土)10時から正午まで カ)場所:ABK学館 日本語学校(本駒込2-1-13) キ)参加者:区民等10人、留学生9人</p>			外国人おもてなし語学ボランティア講座、日本語でおもてなしレベルアップ交流会ともに参加者の満足度が高く、区民のおもてなし力の向上と、外国人住民との相互交流につながった。		東京都共催の外国人おもてなし語学ボランティア講座は、令和元年度で終了するが、フォローアップの講座を望む声が多い。また、日本語でおもてなしレベルアップ交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、参加者が少なかった。	外国人おもてなし語学ボランティア講座は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、令和2年度は、区主催の講座を企画し、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じた上で実施する。また、日本語でおもてなしレベルアップ交流会は、オンラインでの開催を検討する。	アカデミー推進課